

平成28年4月26日

半田市長 榊原 純夫 殿

半田市立半田病院あり方検討委員会  
会長 石黒 直樹

半田市立半田病院新病院構想について（答申）

半田市立半田病院の新病院建設構想の具体化に向け、今後の半田病院のあり方について、当委員会において慎重に検討した結果を半田市立半田病院新病院構想としてとりまとめ、別冊のとおり答申します。

なお、新病院の建設にあたりましては、下記の事項に十分配慮され、半田病院の理念である地域の皆さんに信頼される病院の実現を目指して努力されるように要望します。

記

- 1 市民アンケートの結果からも、今後も知多半島医療圏の中核医療施設として高度急性期医療を提供することが望まれており、引き続きその役割を担うものであるが、市立病院として市民とともにある病院であることにも留意されたい。
- 2 老朽化した現病院施設への多額の投資を避け、新病院建設後も安定して医療の提供が継続できるよう、建設スケジュールを最優先として候補地を選定したものであるため、建設費用の抑制に努めるとともに早期の建設を図られたい。
- 3 建設候補地の周辺道路は災害の規模によっては浸水、液状化が見込まれる地域とされているため、浸水を前提としたアクセスの確保、建物自体は元より周辺道路について愛知県の協力を得て半田市としても液状化対策に取り組むこと。
- 4 超高齢社会のなかで今後もさらに高齢者人口が増加していくことから、自家用車での来院が困難となることも見込まれるため、バス等公共交通の更なる利便性の向上を図られたい。